



Basic & New

NIPPON PAINT

変性エポキシ樹脂下塗り塗料

# ハイボン20デクロ

JIS K 5551

構造物用さび止めペイント C種 1号 2号

ハイボン20デクロ

(グレー、ブラウン、ホワイト)

JASS 18 M-109

変性エポキシ樹脂プライマー

適合品

ホルムアルデヒド

放散等級

F☆☆☆☆



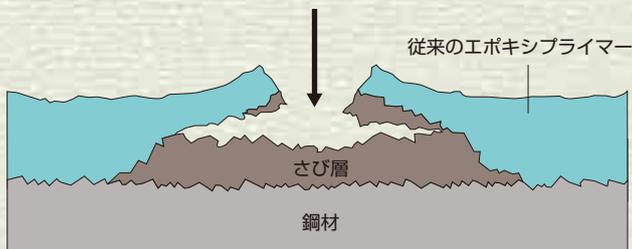
# 塗り替え塗装での省力化と合理化に最適!!

## I. 塗膜の柔軟効果（内部応力の低下）

さび面は錆粉や空間部が多く、付着力の弱い層なので、その上に塗装した場合を図で比較すると………（2種ケレン面の残存さび層の拡大図）

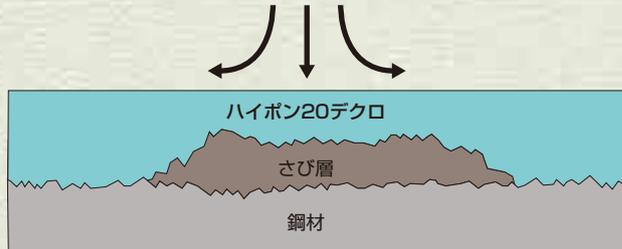
### ■従来の強溶剤形エポキシプライマーの場合

塗膜が硬化や温度変化で収縮してさび層を引き起こし、腐食が進行する。



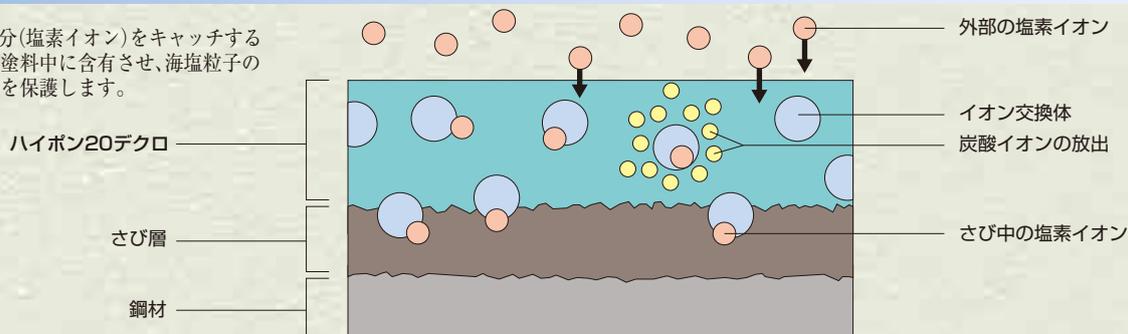
### ■ハイボン20デクロの場合

塗膜が柔軟でさび層を引き起こさない。



## II. イオン交換体の効果

腐食性物質の塩分(塩素イオン)をキャッチするイオン交換体を塗料中に含有させ、海塩粒子の悪影響からも鉄を保護します。



## 塗装仕様例

### ■ポリウレタン樹脂塗料仕上げ

工程	塗料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	シンナー名 希釈率	標準膜厚 (μm/回)
素地調整	発錆部については ISO St3 まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。					
下塗り	ハイボン20デクロ	0.20 (はけ・ローラー)	1~2	16時間以上 1カ月以内 (※注1、注2)	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	50
中塗り	ハイボン30マスタック中塗K	0.14 (はけ・ローラー)	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	30
上塗り	ハイボン50上塗	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	ハイボンウレタンシンナー 0~10%	30

※注1 ハイボン20デクロ同士……16時間以上1カ月以内。ハイボン20デクロ+ハイボン40上塗……16時間以上7日以内。

注2 ハイボン20デクロ+ハイボン50上塗……16時間以上7日以内。

### ■ふっ素樹脂塗料仕上げ

素地調整	発錆部については ISO St3 まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。					
下塗り	ハイボン20デクロ	0.20 (はけ・ローラー)	1~2	16時間以上 1カ月以内	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	50
中塗り	デュフロン100中塗K	0.14 (はけ・ローラー)	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	30
上塗り	デュフロン100フレッシュ	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	デュフロン100フレッシュシンナー 0~10%	25

- 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

# テスト結果 自然暴露2年（2種ケレン面塗装）

## 条件

1. 場所：  
日本ペイント鳴門暴露試験場  
（徳島県鳴門市）

2. テスト板：  
サンドブラスト後、6カ月暴露の鋼板を  
ワイヤーホイールにて2種ケレンした。

3. 膜厚：  
テストⅠ／  
50μm×1+上塗り（ハイボン50）30μm×1  
テストⅡ／  
50μm×2+上塗り（ハイボン50）30μm×1

4. その他：  
塗り回数は、発錆促進のため、  
標準仕様より減らしてあります。

	ハイボン20デクロ	従来の強溶剤形エポキシプライマー	市販悪素地用プライマーA	市販悪素地用プライマーB
テストⅠ				
テストⅡ				

## 素地との付着性

素地	付着性	備考
鉄	○	
ステンレス	○	SUS316、SUS304など
溶融亜鉛めっき	○ *	白さび除去必須
電気亜鉛めっき	○	ボンデライトなど
アルミ	○	A1050Pなど
アルミアルマイト	×	
プラスチック	×	

※ 金属光沢がなくなるまで屋外暴露（目安として6ヵ月）した後、白さびを除去してください。

## 容量

	20kgセット	5kgセット
ハイボン20デクロ	塗料液／硬化剤 17kg／3kg	塗料液／硬化剤 4.25kg／0.75kg
ハイボン20デクロW	塗料液／硬化剤 17kg／3kg	—
ハイボンエポキシシンナー （2液形用）	16L	4L

## 色相

● 色は印刷インキのため近似色です。

ブラウン (07-40P近似)	グレー (N-70近似)	ホワイト (25-85A近似)	※ 淡彩色につきましては、 JIS表示できません。 (JIS非該当品になります)

## 規格

各橋梁施主および JASS 18M-109 などの規格に合格しています。  
JIS K 5551 構造物用さび止めペイント C 種 1号2号

# ハイボン20デクロ

## ご注意

- 1 ハイボン20デクロは低温時において乾燥が著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5℃以下の気温が連続する場合は、ハイボン20デクロWをご使用ください。
- 2 ハイボン20デクロWは外気温が20℃以上になりますと、ポットライフが著しく短くなりますので、20℃以上の外気温が連続する場合は、一般用のハイボン20デクロをご使用ください。
- 3 ウエットフィルムゲージでウエット膜厚を管理しながら塗装してください。
- 4 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- 5 亜鉛めっき面についてはリン酸処理したものか、もしくは12ヵ月以上屋外暴露したものを対象としてください。
- 6 没水部などへの適用は避けてください。
- 7 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行なってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入れ口などに養生を行ない、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 8 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- 9 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 10 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 使用方法

- 下地調整：① 1種ケレン後ジンクリッチプライマーを塗装した上に塗装することができます。  
② ジンクリッチの損傷箇所・溶接部分などについて2種ケレンを行えば直接補修用として使用できます。  
③ 塗り替え時の下地調整は発錆部についてはISO St3まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。  
④ 暴露経過後の亜鉛めっき面に塗装するときは、白さびおよび付着物を十分に除去してください。

混合：2液形のため塗料液と硬化剤を規定の割合〔重量比(塗料液85/硬化剤15)〕に混合し、十分かくはん後ご使用ください。

ポットライフ：ハイボン20デクロ 8時間(23℃)  
ハイボン20デクロW 5時間(5℃) 3時間(10℃)

シンナー：ハイボン20デクロ ハイボンエポキシシンナー (夏用:ハイボンエポキシシンナーS)  
ハイボン20デクロW ハイボンエポキシシンナーW (冬用:ハイボンエポキシシンナーWも取りそろえています。)

塗装方法	ハイボン20デクロ		ハイボン20デクロW	
	はけ又はローラー塗り	エアレススプレー塗り	はけ又はローラー塗り	エアレススプレー塗り
希釈率	0~5%	0~5%	0~5%	0~5%
使用量	0.20kg/m <sup>2</sup> /回	0.40kg/m <sup>2</sup> /回	0.20kg/m <sup>2</sup> /回	0.40kg/m <sup>2</sup> /回
乾燥膜厚	50μm	80μm	50μm	80μm
ウエット膜厚	100μm	160μm	100μm	160μm

エアレス条件：一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

※使用量・膜厚は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器測定方法により幅を生じ増減します。

※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

## 安全衛生上の注意事項 (ハイボン20デクロ ホワイト塗料液)

### 横倒禁止

<ul style="list-style-type: none"><li>● 本来の用途以外に使用しないでください。</li><li>● 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。</li><li>● 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。</li><li>● 湿気を遮断し、不活性ガスの下で取り扱ってください。</li><li>● 容器を密閉してください。</li><li>● 容器および受器を接地してください。</li><li>● 防塵型の電気機器、換気装置、照明機器を使用してください。</li><li>● 火花を発生しない工具を使用してください。</li><li>● 粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。</li><li>● 必要としない場合は、環境への放出を避けてください。</li><li>● この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。</li><li>● 汚染された作業衣は密着袋に入れて作業場から出してください。</li><li>● 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。</li><li>● 適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。</li><li>● 必要に応じて個人用保護具を使用してください。</li><li>● ガスが発生し容器に圧力がかかる場合がありますので保護めがねを着用し、布(ウエス)でふたを押さえながらガスや塗料の噴出に注意して静かに開けてください。</li><li>● 飲み込んだ場合/息が苦しいときは医師に連絡してください。口をすすいでください。</li><li>● 眼に入った場合/水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。</li><li>● 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。</li></ul> <p>※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。</p> <p><input type="checkbox"/> 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 <input type="checkbox"/> 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。</li><li>● 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。</li><li>● 取り扱った後、手を洗ってください。</li><li>● 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。</li><li>● 直ちにすべての汚染された衣類を脱いでください。取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。</li><li>● 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。</li><li>● 暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。</li><li>● 緊急の洗浄剤が必要な場合は、直ちに特別処置を実施する。</li><li>● 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。</li><li>● 水を消火に使用しない。</li><li>● 容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。</li><li>● 乾燥した場所または密閉容器に保管してください。</li><li>● よくふたをし、5℃~40℃の屋内で貯蔵してください。</li><li>● 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。</li><li>● 50℃以上の温度に暴露しないでください。</li><li>● 直射日光や水漏れは厳禁です。</li><li>● 積み重ねは3段までとしてください。</li><li>● 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。</li><li>● 内容物/容器を廃棄するときは、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。</li><li>● 塗料、塗料容器、塗具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。容器、塗具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。</li></ul>
---	--



引火性液体および蒸気/水に触れると可燃性/引火ガスを発生/皮膚刺激/強い眼刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/火災の原因となるおそれ/発がんのおそれ/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に毒性(急性)/長期的影響により水生生物に毒性

①「本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。」

②「©Copyright 2014 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.」

●本カタログの内容については、将来予告なしに変更することがあります。

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●当社は2014年11月現在、ISO14001を全事業所で認証取得をしております。

●このカタログは、再生紙を使用しています。

カタログNo.

NP-R051

HA141110T

2014年11月現在